

## 第3回 船坂まちづくり塾ニュースレター

3月13日(土)に開催しました「第3回船坂まちづくり塾」では、船坂地区をよく知ろうということで、早春の船坂地区の「まち歩き」を行いました。

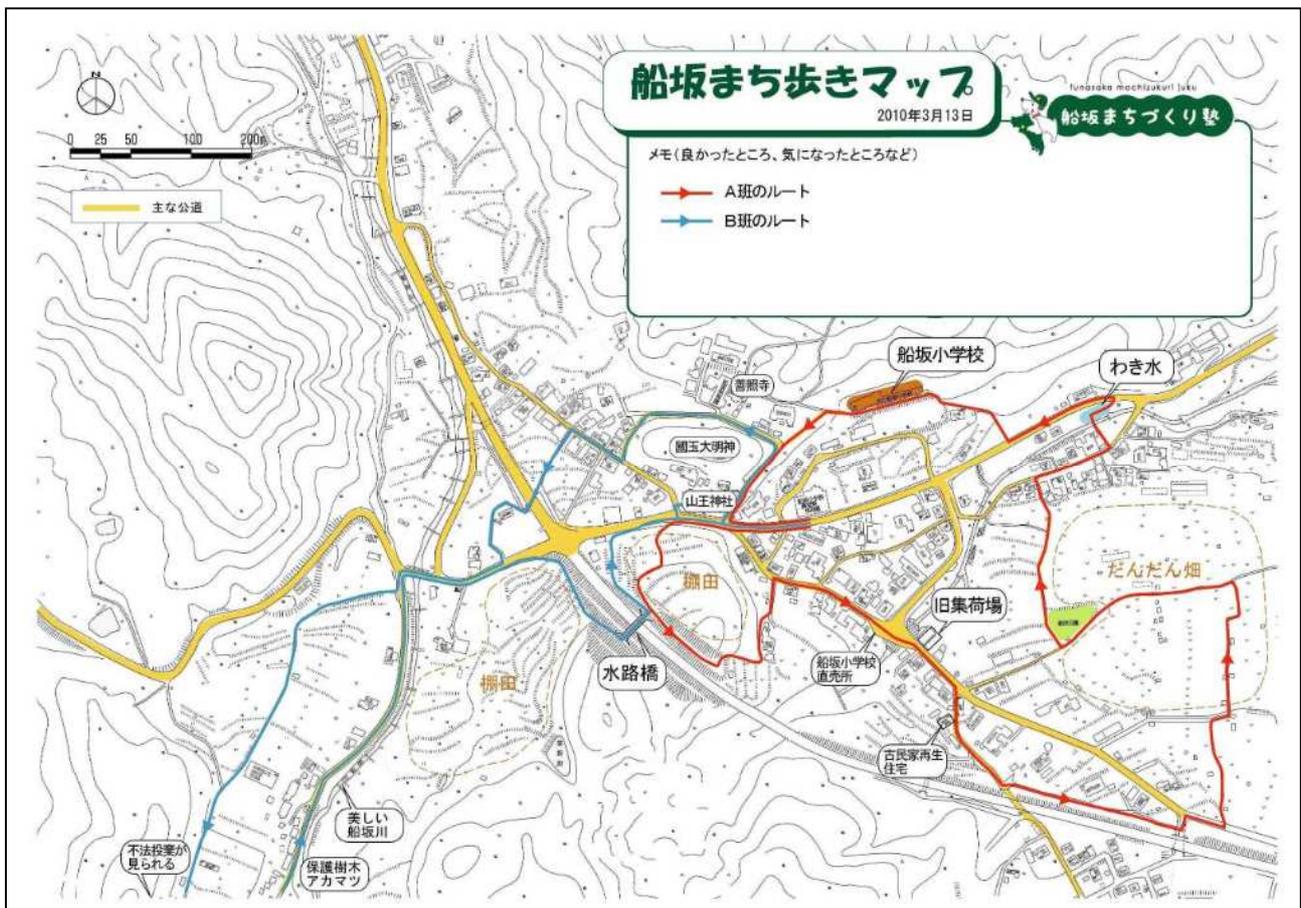
当日は午前中に雨が降ったり他の集まりと重なったりで参加された方が少なかったのですが、棚田の保全活動に取り組む「棚田むすびの会」の方も2名参加され、楽しくまち歩きが行えました。当日は、きつい上り坂や階段などもあり、参加頂いた皆様は大変お疲れ様でした。

今回のニュースレターでは、まち歩きの様子のであらましと感想の一部をお伝えします。

まちづくり塾の様子



### 船坂まち歩きのルート（A班とB班の2班に分かれました。）



## A班 船坂地区南東のまち歩きの様子



船坂交差点南東側の丘にある棚田です。周囲が竹林などで囲まれており、隠れた所に美しい田園風景がありました。なお有料道路に架かる橋は、この農地のための水路橋だそうです。見晴らしが良かったです。



船坂小学校の児童が育てた野菜の販売所や昔の野菜の出荷場などの使われなくなった施設がありました。(出荷場は現在倉庫として利用されているそうです。)



時代の変化と地域や農業の活性化が必要となっていると感じました。

古民家再生中の茅葺住宅です。茅葺民家の郷で知られる京都の美山町の職人さんが茅を葺きに来られるそうです。裏側の屋根は綺麗に修復されていました。修復後はどう活用されるのでしょうか？



野菜の洗い場です。深く危険な池にはフェンスがありました。当日は雨上がりで綺麗な水が豊富に流れていました。綺麗な水と空気は船坂地区の貴重な資源(宝物)と思います。



丘陵地に広がる農地(段々畑)のなかを歩きました。車が進入できる道路が少なく耕作放棄地もありますが、水利設備はよく整備されていました。農地によっては、周囲を囲っていたり、資材を置いていたりでブルーの色彩が目立ちました。小学校から見てもブルーの色彩が目立ちます。



有料道路事業によって船坂公園が出来たそうで、記念碑もありました。思っていたより施設が充実していました。

また近くには、今年の「船坂ビエンナーレ」の作品が残されていました。竹の音符で船坂小学校の校歌が表されており、背景に透けて船坂小学校が見えます。下には竹琴がありました。



湧き水の水場がありました。上段、中段、下段に分かれ、水を有効的に利用されています。震災後は水量が減少したそうです。



船坂小学校から見た丘陵地に広がる農地(段々畑)です。船坂公会堂に飾ってある写真からは随分変わっていました。ブルーシートの色彩が目立ちます。



この3月末で廃校となる船坂小学校に真新しい記念石碑がありました。

裏面には、「船坂小学校が閉校するにあたり船坂が活気ある明るい町になることを祈念してここに本碑を建立する。」とありました。



## B班 船坂地区南西のまち歩きの様子

お稲荷さんの前に建つ鳥居です。階段を上ると奥にお稲荷さんがあります。当日は階段が急なため、後のことを考え階段を上ることを断念しました。



昔、船坂で大火災があった後に建てられた火の守り神“アキバさん”がありました。船坂の安全を静かに見守っているように感じました。



船坂に数軒残る数少ない茅葺のおうちです。数年前にきれいに補修されている建物もあり、とても風情を感じました。まちの重要な景観のポイントにもなっているので、今後も保存してほしいと思います。

また右の写真は、きのこをイメージした船坂ビエンナーレの作品が茅葺屋根に展示されていたものです。



休耕農地が藪に変わっていました。5年も経てば藪がもっと広がるそうです。

美しい棚田が藪となり荒廃していくのは残念です。休耕農地の活用も考えていく必要があると思います。



船坂川沿いの細い舗装道を奥(南)に進みました。

家電や粗大ごみの不法投棄がありました。せっかくの美しい自然が汚されて台無しです。

船坂川の上流には、保護樹林に指定されている立派な“アカマツ”がありました。樹齢は何年ぐらいなのでしょう？



船坂川の清流です。上流に行けば、山道のとても近くを清流が流れる場所がありました。清水に触れられ、自然のすばらしさを感じることができます。

船坂交差点南西側のよく手入れされた美しい棚田(畑)です。急な坂道を登るときれいなパノラマな景色も見ることができました。



山王神社も行きました。まちとは違った雰囲気漂っており、一息入れるには良い場所だと思いました。